

園田豊中線 タウンミーティング

園田豊中線タウンミーティングにご参加、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。
全5回のタウンミーティングでまとめた広場案を受け、現時点における市の考えをお示しします。

まとめに対する市の考え

ベンチ、日陰

パーゴラやテーブル、ベンチの設置位置や形状については、沿道の商店に配慮する必要があるため、広場利用の方法を見据えながら決めていきます。

歩行者・広場利用者の安全

歩行者や広場利用者が安全に過ごせるよう自転車の広場内での走行を抑制したいと考えています。例えば、自転車が周辺道路を走行しやすいフラットな整備や、広場内には自転車が走行しにくい障害物を設置するなど、自転車と歩行者・広場利用者の利用空間を分ける取り組みを検討します。

通路

広場内に車椅子やベビーカーを含む歩行者の通りやすさを考慮したフラットな通路の整備を行います。
また、夜間における通行の安全性を確保するため、照明を設置します。
舗装材については、猛暑対策や保水機能、景観性を考慮し選定を行います。



水道等の設備

水道、電源、下水設備の設置については、広場利用の需要や、運営体制と並行して必要性を検討します。

芝生

上の案のような全面的な設置は難しいと考えていますが、維持管理の課題を踏まえ、通行の支障とならない一部分での設置を検討します。

掲示板

デジタルサイネージなどの地域のお知らせを掲載できる掲示版設置を検討します。

パトカー駐車

パトカー兼道路管理者駐車スペースとして、検討します。

自転車駐輪場

路上駐輪対策で設置した駐輪場ですが、存続・廃止について検討を進めているところであり、現時点では、本事業(道路整備事業)で撤去する考えはありません。

運営・管理

施設の維持管理は市が行うが、広場の日常的な清掃や広場活用の運営を地域主体で永続してもらえるよう、社会実験や地域の団体へのヒアリングを通じて、実現可能な手法を提案します。

その他

移動式のイス・テーブルの収納場所・倉庫、可動式日影、防犯カメラ、ゴミ箱、コンテナ、防災備蓄庫、イルミネーション、喫煙所等については、将来的に維持管理運営を担う地域の団体が設置することになります。